

新春のあいさつ

議長

倉持 功



輝かしい平成29年の新春を迎え、町議会を代表いたしましたして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、境町議会に対し、ご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、2月26日には圏央道の全線開通が決定され、境・古河インターチェンジからつくば中央インターチェンジまでの区間が開通する運びとなりました。これにより、茨城県内における圏央道が全線開通し、東は東関東自動車道から西は東名高速道路まで、六本の高速道路が圏央道で結ばれ、境町民だけでなく、茨城県民の利便性、また茨城県の可能性が大きく広がると感じています。

当町でも、圏央道を最大限有効活用し、流通や地域経済発展の促進、また税収及び雇用確保のため

インターチェンジ周辺開発を着実に進めているところでございます。

境町議会では、昨年12月第4回定例会において、いまだ厳しい財政状況の中、行政改革の一環として、「境町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」について議案を提出し、12月5日の本会議において、議員の定数を一名削減し12人とすることとし、本年6月の境町議会議員の一般選挙から施行することに、全会一致で可決されました。

また、各自議員として町民から選ばれたという責任を持ち、常に町民の視点に立ち、町民の代表であるとして自覚し、町民と協働してしっかりと活動していくためにも議会基本条例を制定していきたいと考えています。

私たち議会は、未来に展望の持

てる、安心・安全な住みよい町づくりを目標に、町執行部と共に境町の両輪となり、本年も関係各位との連携を深め、町民の負託に応えるべく邁進していく所存です。

結びに、境町の発展と町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

